



概要

各町村営バスが町村を単位として運行する一方、地域住民は町村間をまたぐ移動があるなど、車がなければ生活に不便をきたす状況である。このため、各種移送サービスの利用者・事業者ヒアリングを実施し、これらのサービスと路線バスが連携した総合的な交通体系を構築するとともに、バス利用者やバス利用目的地となる施設の利用者にヒアリングを実施し、バス路線の利便性向上を図る。

○地域公共交通の現況

- ・JR飯田線(東栄駅、大嵐駅)
- ・豊鉄バス(株)(2路線)
- ・町村営バス(設楽町4路線、東栄町5路線、豊根村5路線)

○地域公共交通の問題点

- ・各町村営バスが町村を単位として運行
- ・バスダイヤは通学に特化し、通院・買物に不便
- ・公共交通空白集落が存在
- ・バスと過疎地有償運送の役割分担が不明確

○調査の主な内容

- ・各種移送サービス利用者、事業者ヒアリング
- ・バス利用者、施設利用者ヒアリング
- ・バス事業者ヒアリング

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・通学、通院、中心集落を結ぶ広域的な基幹バス路線(現豊鉄バス及び町村営バス)の設定
- ・基幹バスと接続する支線バス(現町村営バス)の再編
- ・予約バス方式によるサービス拡大
- ・各種移送サービス、スクールバスとの連携
- ・交通結節点の整備

